

(別添2)

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 障がい者・（児）

第三者評価の判断基準

事業所名（施設名） 社会福祉法人からし種会：緑の牧場学園グループホーム（秋桜寮、こまくさ寮、ひまわり寮、しおなだ（指定管理）

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着眼点	コメント	
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	<p>○法人の3つの基本理念「利用者の権利擁護」「利用者主体のサービス」「地域に開かれたグループホーム」と、5つの基本方針、個性化、家族化、地域化、生産化、民主化は、グループホームの基本運営方針として位置付けられ、利用者一人ひとりの自律・自立支援がグループホーム共同体の基本支援として、定着していることを事業計画書や各グループホームのパンフレットに記載されていました。</p> <p>○各グループホームの利用者は、比較的自己主張や自己決定能力のある方が多く、利用者個々の意向を尊重して、支援を展開できる状況にありました。</p> <p>○管理者、サービス管理責任者は、利用者のエンパワメント、ストレンクス理念のもとに、個別支援計画や研修会等で職員、利用者への説明周知を図っていました。</p>
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。 ■ 8 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 ■ 9 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。 ■ 10 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 ■ 11 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 ■ 12 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。 	<p>○権利擁護に関する身体拘束、虐待防止に関するマニュアルは、基準に基づいて適切に整備され、利用者個々の権利擁護システムとして機能していました。</p> <p>○各グループホームの利用者は、身辺処理や意向等で自立している方が多いこともあり、不適切な問題に対しては、的確な反応もあり、重大な権利侵害が生じない環境がありました。</p> <p>○権利侵害に関しての内部・外部研修会が定期的実施され、伝達研修やパソコンによる共有システムで全職員への周知共有を図っていました。</p> <p>○研修会は、委員会の計画で法人組織として開催され、事例研修や防止のための取り組み、合理的配慮義務の研修が実施されていることを研修会議録で確認できました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	着眼点	コメント
	2 生活 支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 13 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 ■ 14 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 ■ 15 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 ■ 16 生活の自己管理ができるように支援している。 ■ 17 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。 	<p>○各グループホームの利用者の個別支援計画は、サービス管理責任者とサービス等利用計画の策定相談支援専門員が連携して、マネジメントをしているため、利用者個々の状況がより的確に把握できる仕組みになっていて、利用者の自律・自立支援が適切に行われていました。</p> <p>○利用者の金銭管理や生活面の支援については、本人と十分に話し合い、本人の意向により、柔軟に対応していました。</p> <p>○行政手続が必要な利用者には、各グループホームのリーダーやサービス管理責任者が付き添って同行したり、家族に依頼する等の対応をしていました。</p>
			② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 18 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。 ■ 19 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。 ■ 20 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。 ■ 21 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。 ■ 22 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。 	<p>○意思表示や発言能力が比較的高い利用者は、日常的に職員とのコミュニケーションができる機会が多く、本人の意向で、サービス管理責任者や管理者とも随時、話し合う機会が設けられていました。</p> <p>○意思表示や伝達が苦手な利用者には、個別支援計画に明示し、定期的に各グループホームのリーダーやサービス管理責任者、管理者と話し合う機会がありました。また、関わる機会が多い世話人にも個別支援計画に基づいて、声掛け等の支援を図っていました。</p>
			③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 23 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。 ■ 24 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。 ■ 25 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。 ■ 26 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。 ■ 27 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。 	<p>○普通日は、各グループホームのほとんどの利用者は、日中活動で他事業所に出かけるため、起床から朝食時及び夕食時から夜間に主に世話人と宿直職員との関わりが、おこなわれますが、利用者からの相談内容については、受けた職員が記録して、各グループホームのリーダーに報告する仕組みになっていて、相談内容により、サービス管理責任者や管理者が直接対応する仕組みがありました。</p> <p>○利用者や家族からの意見や要望、訴えは、苦情解決にも年間十数件寄せられていて、苦情解決委員会により適切に対応していて、同様に日常的な利用者の相談についても適切に対応する仕組みがありました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	眼 点	コメント
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 28 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。 ■ 29 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 ■ 30 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 ■ 31 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 ■ 32 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 ■ 33 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。 	<p>○グループホームの利用者は、相談支援事業者のサービス等利用計画で、利用開始時には日中活動先もある程度決まっているためサービス管理責任者が日中活動先の事業者と連携して、活動内容や活動の状況、出勤状況、仲間との関わり等について、情報を把握し、個別支援計画の共有と相談支援専門員との情報共有のために、定期的な支援会議を行っていました。</p> <p>○祝日、土曜日曜等日中活動がお休みの日は、各グループホームの利用者は、各自、自由に過ごしていて、一人で佐久市のスーパーで買い物や食事を楽しんだり、一人で出かけることが不安な方には、ボランティアや家族、職員が同行する仕組みになっていました。外出希望は、本人から事前に申し出るようになっていました。</p> <p>○グループホームで過ごす利用者には、趣味活動の支援や、レクリエーション等で過ごしていただき、基本的には利用者の判断で自由に過ごすことが周知されていました。</p>
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 34 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。 ■ 35 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。 ■ 36 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別のかつ適切な対応を行っている。 ■ 37 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。 ■ 38 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。 	<p>○入所支援施設開設時の利用者や各グループホームの利用者の主な障がいは、知的障害の方がほとんどで、知的障害に関する職員の専門知識やノウハウは、確実に蓄積されています。</p> <p>○特に入所支援施設の利用者は、障がい状況も年々多様化しているため、法人組織として研修会を開催し、職員のスキルアップや専門知識の共有に努め、個別支援の適切化を図っていることを会議録やサービス管理責任者インタビューで伺いました。</p> <p>○各グループホームの利用者にも、不適応言動やパニック障がい、強いこだわりの方がおりましたが、職員は適切な対応をしていることをケース記録で確認できました。</p>
	(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。	a)		<ul style="list-style-type: none"> ■ 39 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。 ■ 40 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 ■ 41 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 ■ 42 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 ■ 43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。 	<p>○入所支援施設の栄養士、看護師、管理者も医療・食事委員会のメンバーになり、月1回の給食連絡会と毎年度、嗜好調査を実施、アウトソーシング業者との定期的会議により、嗜好調査等に基づいた献立、調理が行われていました。利用者聴き取り調査や職員の面談でも、ホームの食事は美味しいとのコメントが多数ありました。</p> <p>○グループホームの入浴支援は、健康チェックや衛生チェックが行われ、毎日入れるようになっていて、世話人や宿直職員が見守る体制がありました。</p> <p>○グループホーム利用者の高齢化による機能低下も認められますが、ほとんどの方は、トイレや移動等も何とか自力で行い、できない部分を職員が介助支援をしていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	眼 点	コメント
		(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 44 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 ■ 45 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。 ■ 46 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるような生活環境の工夫を行っている。 ■ 47 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 ■ 48 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。 	<p>○4つのグループホームは、老朽化対策の課題があり、中・長期計画にも改修や建て替えの計画が反映されていました。</p> <p>○各グループホームの建物や設備等は、古くはなりましたが、特にこまくさ寮は、木造作りの広々とした空間が特徴的で、快適な生活環境として整備されていました。</p> <p>○2つのグループホームは、短期入所事業も併設していて、利用がない時には、不穩利用者の一時利用として、活用されていました。</p> <p>○生活環境については、各グループホームの利用者と世話人職員と話し合いがもたれ、季節ごとに模様替え等も行われていました。</p>
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> □ 49 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 ■ 50 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 ■ 51 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 52 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 53 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。 	<p>○各グループホームの利用者は、自立度が比較的高いことと日中活動等もあり、機能訓練や生活訓練を行う時間と利用者ニーズもでてないこともあり、訓練体制は十分にはできていませんでした。</p> <p>○利用者の最大限の自立と身体的、精神的、社会的、職業的能力を發揮・維持するには、機能訓練や生活訓練が求められています。専門職による訓練プログラムやメニューに基づいた支援と日々の生活動作を利用者が主体的に取り組む支援が求められています。担当職員や委員会を設置して、関係職種との連携の中で個別支援計画に反映させる取り組みを期待します。</p>
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 54 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 ■ 55 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 ■ 56 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。 ■ 57 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 ■ 58 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>○法人の医療委員会により、マニュアルにもとづいて、バイタルチェック等を行っていました。</p> <p>○体調不良の利用者がいた場合は、入所支援施設に連絡し、看護師の指示で主治医へ連絡する手順がありました。</p> <p>○利用者は、毎年、健康診断生活習慣病検診が行われ、結果は家族にも報告されていました。</p> <p>○利用者の健康相談は、看護師や嘱託医が定期的に対応する仕組みがありました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	着眼点	コメント
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 59 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 ■ 60 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実にやっている。 ■ 61 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 ■ 62 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。 ■ 63 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 ■ 64 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>○各グループホームの利用者の医療的支援については、医療・食事委員会の事業計画により、健康診断やケガ、体調変化に対応する具体的な手順や安全管理体制の仕組みがありました。</p> <p>○グループホームの利用者の医療的支援は、服薬管理や漢方薬等外用薬支援が主で、個別支援計画で支援する仕組みになっており、体調不良等については、利用者の訴えにより、内容を記録し、引継ぎや看護師に報告して、対応する手順書になっていました。</p> <p>○日常的に医療的ケアが必要な利用者は、ほとんどいないとのことですが、医療的ケアの支援に関する勉強会は、看護師、嘱託医の協力で、本体入所支援施設と一緒に定期的に研修をして、周知共有に努めています。</p>
		(6) 社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 65 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 ■ 66 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 ■ 67 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。 ■ 68 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。 	<p>○休日の外出・外泊希望は、毎月、利用者から届け出により、支援する体制がありました。地域のイベント等についても、毎月、各グループホームで情報を掲示提供して、利用者個々にも参加を促す働きかけをしていることを職員インタビューで伺いました。</p> <p>○利用者インタビューでは、休日等週末には必ずスーパーに出かけ、買い物や食事を楽しんでいるという方も数名いました。</p> <p>○一人で外出することが不安な方には、ボランティアや家族、職員が同行する体制もありました。</p>
		(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 69 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に ■ 70 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 ■ 71 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 ■ 72 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 ■ 73 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。 	<p>○グループホーム利用者の生活や住まいの意向については、法人の相談支援専門員の半年ごとのモニタリングとサービス管理責任者の個別支援計画の評価・見直しにおいて、本人の意向についての聞き取りと適切な対応が、記録から伺えました。</p> <p>○利用者インタビューでは、終始、「グループホームの生活は嫌だ、変わりたい」を訴える利用者もいたが、サービス管理責任者と相談支援専門員は、十分に周知把握して、本人の訴え内容について、移行できる社会資源や実習・体験等の情報を提供して、適切な対応支援をしていることを個別支援計画書やケース記録で確認しました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	着眼点	コメント
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 74 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 ■ 75 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 ■ 76 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。 ■ 77 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 ■ 78 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 ■ 79 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。 	<p>○家族との関わりに関しては、法人理念や基本方針により、定期的に利用者の生活の情報を各グループホームの便りとして配布し、また、法人の広報誌を毎年配布し、グループホームの生活や運営状況の周知共有に努めていました。</p> <p>○毎年、家族会を開催し、個別支援計画の確認等個別面談をおこなっていることを記録で確認できました。家族会へのグループホーム利用者の家族は少ないとのサービス管理責任者のコメントでした。</p> <p>○利用者の変化や家族に関する訴え等については、サービス管理責任者と管理者が家族に電話や文書等で連絡し、適切な対応をはかっていることを記録とインタビューで確認しました。</p>
3	発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> □ 80 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援(個別支援)を行っている。 □ 81 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動を組み合わせながら実施している。 □ 82 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。 □ 83 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。 	対象外
4	就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> □ 84 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。 □ 85 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。 □ 86 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。 □ 87 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。 □ 88 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。 □ 89 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。 	対象外

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	着眼点	コメント
			② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	<input type="checkbox"/> 90 <input type="checkbox"/> 91 <input type="checkbox"/> 92 <input type="checkbox"/> 93 <input type="checkbox"/> 94 <input type="checkbox"/> 95	90 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。 91 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。 92 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。 93 賃金(工賃)等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。 94 賃金(工賃)を引き上げるための取組や工夫を行っている。 95 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。	対象外
			③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	<input type="checkbox"/> 96 <input type="checkbox"/> 97 <input type="checkbox"/> 98 <input type="checkbox"/> 99 <input type="checkbox"/> 100 <input type="checkbox"/> 101	96 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大(職場開拓)に努めている。 97 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。 98 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者と企業とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。 99 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。 100 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。 101 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。	対象外